

＜先週の説教から＞

『詩編 31 一時についての神学』

武田真治 牧師

詩編 31 : 1~25 コリントの手紙Ⅱ、4 : 7~16

この詩編 31 編は、ユダヤ教よりもはるかにキリスト教会で豊かに読まれ、重要視されて来ました。その理由は何より6節にあります。即ち「まことの神、主よ、御手にわたしの霊をゆだねます。」です。この言葉こそイエス様が十字架の上で語られた七つの言葉の一つだからです（=ルカ福音書 23 章 46 節）。故に昔から、イエス様はこの言葉だけでなくこの詩編 31 編全体を十字架の上で思い出しておられたのではないかと考えられて来たのでした。その意味で私たちが読まない訳にはいかない大事な詩編と言い得るのでは？

まず全体の構造から。ここには同じ内容と同じ構成を持っている2つの詩が、編集者の手によって並べられていると考えられています。2~9節と10~23節とです。各々2つとも「助け出してください。わたしは苦しんでいます。」という《嘆願の祈り》が祈られ、次にそのような厳しい状況にも関わらず「あなたこそわたしの神、あなたに信頼します」という《信頼の告白》（=最初の6節の言葉はこれに当たります）が語られます。そしてその結果「わたしの魂の悩みを知ってくださいました。嘆き祈るわたしの声をきいてくださいました。」と《感謝の祈りと賛美》を献げるという内容になっています。この別々の祈り手なのに、同じように神様によって苦難から救われた体験を為していることを踏まえて（編集者の言葉として）「主の慈しみに生きる人はすべて、主を愛せよ。主は信仰ある人を」必ず守ってください。故に「雄々しくあれ、心を強くせよ、主を待ち望む人はすべて。」という、すべての信仰者へのメッセージで終っているのがこの詩編の構造と言い得るのです。なるほどと教えられます。

その上で、この詩編には素晴らしい言葉が多くあります。特に16節「わたしのふさわしいときに、御手をもって敵の手から救い出してください」の言葉の背後には聖書の「時に対する信仰」が語られています。この世の時間は神様が創っ

てくださったものであり、神様が導いておられるものだ。従って、私たちの人生の“時=出来事”も神様の御計画に拠って導かれているものだ。それが「ときも御手の中にある」という信仰です（=前の協会訳では「わたしの時はあなたのみ手にあり」）。つまり、今迄は自分の考えや自分の時間で動いて来た、その結果、窮地に陥ってしまった。故に、神様に私の「とき」も「霊（=命）」も「ゆだねます」から、どうか私を「ふさわしいときに」助け出してくださいと祈っているのです。決してもう諦めてしまったという言葉ではないのです。神様がご計画してくださっている「わたしのとき」があると、それまで“頑張って待ちます”という生き方を選んでいく言葉なのです。これが“神様を信じる”ことです。

\*\*\*\*\*

【今週の集会】

\*聖書研究・祈禱会 I. 4月 5日(水) 20:00  
II. 4月 6日(木) 10:30

聖書: ハイデルベルク信仰問答  
祈禱主題: イースターを覚えて  
担当者: (水) 栗原 (木) 羽倉  
祈りに覚える人: 小草さん 長村さん

【教勢報告】

主日礼拝 男 23 女 50 計 73  
祈禱会 I. 男 6 女 3 計 9 II. 男 2 女 11 計 13  
日曜学校 幼稚科 15 小中科 13 計 28  
ひつじ雲の会 (3月28日(火)) 男 0 女 5 計 5

【次週主日礼拝】 4月 9日(日)

聖書: イザヤ書 60:1~6  
マルコによる福音書 16:1~8  
説教: 「イースター礼拝 — 主は復活されて、先にガリラヤに行かれた！」  
武田真治 牧師

讚美歌: 326(1)、32(1)、聖歌隊 (=323)、  
333(1と2)、494(1~3)、78(1と2)、28

【次週当番表】

司式: 相浦長老 奏楽: 中村 礼拝: 金刺長老  
献金: 小草 柿澤 受付: 鈴木 橋本  
会堂準備: 飯島 岡本 金刺 中村  
看板: 岩佐 週報: 金刺 お花: 茨木

【次週集会予定】

礼拝前: ・求道者会 ・聖書輪読会  
礼拝後: ・壮年/婦人/ダビデ 各会 ・聖歌隊練習  
・改長協委員会

# 週報

2023年度 教会標語

「礼拝に集おう！主に癒され、整えられて」

2023年 4月 2日

日本キリスト教団 上尾合同教会  
牧師 武田真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33  
TEL&FAX 048-771-6549  
<http://www.ageo-church.org/>